



跳ね出し雁行したファサード



AFTER①

軸線を視覚化,ミラーにより壁が消え奥行きと広がりを与える



AFTER②

内外の自然がひとつながりとなりプリミティブな心地よさを実現



BEFORE①



BEFORE②



AFTER③

自然の中のワークスペース



AFTER④

陽光色により明るいトイレ



AFTER⑤

開放感のあるバスルームを実現



AFTER⑥

躯体に埋め込まれた当時の下地材の木目が



AFTER⑦

先を連想させる発光する桜色



BEFORE③

フルスケルトン解体時

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

築55年、受賞歴のある集合住宅。西に桜並木、南に保存緑地の借景を望める恵まれた環境の中、各住戸を南北に45度振り跳ね出し雁行したファサードは唯一無二の造形を呈していた。この建築をどう住み継いでいくか。コロナ禍を経て変化したライフスタイルに合わせ、原型から現型へアップデートする必要がある。各住戸は3.6mグリッドを基準とし、その6つをL型に構成する。身を置くと、グリッドと窓の配置から強い軸線を感じた。壁構造の制約の中、間仕切壁を撤

去、長手に貫く躯体壁を剥出し軸線を視覚化することで広がりを与えた。寂びた躯体には木レンガが埋め込まれ、時を刻んだ痕跡は空間のアイコンとなる。一方、住居には浴室、トイレ等の隔離領域があり、表の強度からより裏となりかねない。深緑のタイル、陽光色の塗装、色で空間強度に対抗することを試みた。南側奥の空間は発光するような桜色を選択し、その先を連想させた。借景に加え軸線の先に内外にガーデンを設えることで、自然との共生を目指した。

審査基準のうち右記に該当する場合は ☒ a.ストックの有効活用 ☒ b.深刻化する技能者不足への対応 ☒ c.既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
耐久性能、温熱性能、室内空気環境、防音・遮音性能	不要なボイラー室を排除し合理的にプランニング。より良い住環境を求めフルスケルトンに解体、床壁天井で断熱を施し換気設備と仕上げを刷新、塗装はセルフペイントした。	リフォーム前 リフォーム後

データ					
所在地	神奈川県横浜市	新築竣工年	1970 年	築後年数	55 年
該当工事床面積	80.99 ㎡	総工事床面積	80.99 ㎡	該当部分工事費	1,000~2,000万円未満
施工期間	120 日間	総工事費	1,000~2,000万円未満		
居住者構成	65 歳以上： 人	40 ~ 64 歳： 1 人	15 ~ 39 歳： 1 人	14 歳以下： 1 人	ペット： 人

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マンション共用部分/ □その他